



平成 21 年 10 月 6 日

各 位

会社名	ダイビル株式会社
代表者名	代表取締役社長執行役員 佐藤 博之
(コード番号	8806 東証・大証第1部)
問合せ先	財務・経理部長 林 洋一
(TEL	06-6441-1933)
当社の親会社	株式会社商船三井
代表者名	代表取締役社長執行役員 芦田 昭充
(コード番号	9104 東証・大証・名証第1部 福岡)
問合せ先	グループ事業部 関連事業第二グループ グループリーダー 清水 能之
(TEL	03-3587-7209)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 4 月 27 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期 連結業績予想数値の修正

(金額の単位：百万円)

(1) 第 2 四半期連結累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 17,400	百万円 4,600	百万円 4,000	百万円 1,300	円 銭 11.15
今回発表予想 (B)	17,200	4,600	4,000	1,900	16.29
増減額 (B-A)	△200	0	0	600	
増減率 (%)	△1.1	—	—	46.2	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	16,613	5,415	5,025	2,750	23.59

(2) 通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 35,100	百万円 9,600	百万円 8,400	百万円 3,800	円 銭 32.58
今回発表予想 (B)	34,300	9,100	8,000	3,900	33.44
増減額 (B-A)	△800	△500	△400	100	
増減率 (%)	△2.3	△5.2	△4.8	2.6	
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	33,845	9,984	9,270	4,998	42.85

2. 平成 22 年 3 月期 個別業績予想数値の修正

(金額の単位：百万円)

(1) 第2四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,500	百万円 4,300	百万円 3,700	百万円 1,200	円 銭 10.29
今回発表予想 (B)	12,300	4,300	3,700	1,800	15.43
増減額 (B-A)	△200	0	0	600	
増減率 (%)	△1.6	—	—	50.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 21 年 3 月期第2四半期)	12,162	5,134	4,721	2,661	22.82

(2) 通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 25,300	百万円 9,000	百万円 7,800	百万円 3,600	円 銭 30.87
今回発表予想 (B)	24,500	8,500	7,400	3,700	31.72
増減額 (B-A)	△800	△500	△400	100	
増減率 (%)	△3.2	△5.6	△5.1	2.8	
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	24,175	9,356	8,565	4,783	41.01

3. 修正の理由

(1) 個別

第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は土地建物賃貸事業における光熱費等の付帯収入が当初の予想を下回る見込みであります。ただし、付帯収入に係る原価等もほぼ同額減少するため、営業利益、経常利益の予想は修正いたしません。なお、四半期純利益は特別損失の建替関連損失が減少すること、及び過年度法人税等戻入額の計上等により、当初予想を上回る見込みであります。

通期における業績につきましては、土地建物賃貸事業における光熱費等の付帯収入の減少や、景気低迷に伴う企業のオフィス需要縮小による一部テナント退室等の動きがあり、売上高は当初予想を下回る見込みであります。営業利益、経常利益につきましても、賃料収入減少の影響等により、当初の予想を下回る見込みであります。なお、当期純利益は上記の理由により経常利益が減少するものの、特別損失の建替関連損失が減少すること、及び過年度法人税等戻入額の計上等により、当初予想を上回る見込みであります。

(2) 連結

第2四半期累計期間及び通期の連結の業績につきましても、上記と同様の理由により修正いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な条件に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上